

プレスリリース

No. 5

interzum - 国際家具産業・木材加工専門見本市

2011年5月25日(水)-28日(土)、ケルン

成功軌道を進む 2011年インターツム 国際家具産業・木材加工専門見本市

展示スペースの80%は既に予約済み

エガー社など多くの企業が再びケルンに集結

2011年インターツムは2010年5月31日に早期申し込み期間を終了しましたが、ケルン見本市会社はこれまでの予約状況を見て楽観的な見通しを立てています。ケルン見本市会社社長 ゲラルド・ベーゼは、「予想を上回る出足です。開催300日前にして、展示スペースの80%が既に予約済みです。現在、出展者は600社を数え、前回のインターツムの同時期と比べて10%増となっています。全体では1400社を大きく上回って、総展示面積が15万2千平米になると見込んでいます。とりわけエガー社、ズードデコア社、ラミグラフィ社、テクノセル社、ファンダーマックス社などの企業が、再びインターツムを自らの表現の場として利用してくれるのは喜ばしいことです。これは当社にとって非常に大きな成果です」と述べています。また、インターツムのプロダクト・マネジャー フランク・ハウボルトは「現在の動きはインターツムが世界のトップ見本市であることを証明するものです。経済的に厳しい状況にあるこの数年、多くのメーカーは地域また世界のビジネスを拡大するために、むしろしっかりと実績のある見本市に賭けています」と述べています。家具製造とインテリア部門での世界のトップ見本市インターツムは、2011年5月25日(水)～28日(土)に開催されます。

木質素材メーカーであるエガー社にとっては、インターツムの順調な発展と見本市を巡る環境が顧客のレベルでも大きく変化したことが出展への決め手となりました。この間、ケルンのインターツムはさまざまなターゲット・グループを視野に、新製品ショーという形で幅広い層に訴求する見本市へと一層の発展を遂げたのです。「我々はインターツムで家具メーカーだけでなく、建築家や専門小売業にも出会うことができます」と、エガー・グループの販売・マーケティング部長ウルリヒ・ビュラー氏は言っています。

金具、表面材、合板類、クッション材、機械などの分野のリーディングカンパニーと並んで、現時点で既に、数多くの中小企業が出展登録をしています。これはインターツムが、これまでの評価通りに多種多様な製品を見せてくれるであろうことを示唆しています。

ホール 6(表装材、化粧板、ラミネート加工、木質材料、パネル、無機物質、エッジバンディングフィルム、表面処理加工、接着剤、エンボスシリンダー、合板)は以前からの出展者が中心となります。ズードデコア社、テクノセル社、インプレス社、ラミグラフ社、そして木質材料メーカーのエガー社、ファンダーマックス社が勢ぞろいするこの重点分野は、今回も多くの来場者を惹きつけることでしょう。ファンダーマックス社の社長エールフリード・タウラー氏はこう語っています。「ファンダーマックス社にとって 2011 年インターツムは世界の家具産業の中で、私どものターゲットとなるビジターに訴求し、『イノベーション見本市』の中でも独自の新商品に目を向けてもらうために、理想的な枠組みとなります。私どもが新しい化粧板コレクションをインターツムの時期に合わせて発表したのは、それなりの理由があるのです。これからの方向を指し示すこの見本市で、私どもはインスピレーションを得たいと考えていますが、同時にインスピレーションを与えたいとも考えているのです。」

ホール 4.2 は光と革新的な材料がテーマで、展示はこれまでにない内装への応用のあり方に重点が置かれます。既に地歩を固めた企業と創業間もない企業との絶妙の混在が、このホールの特別の魅力です。このホールでは昨年同様、若いイノベティブなドイツ企業の見本市出展に対して、連邦経済省から特別助成金が与えられる予定です。二回目となる「innovation of interior」プロジェクトで、建築家やデザイナーは新しい材料の開発や、それがどう応用できるかいち早く見ることができます。2011 年インターツムのプログラムと直接関連づけた形で、様々な重点テーマについて特別なプレゼンテーションが専用のイベントゾーンで行われます。

現段階で既にほぼスペースが埋まっているのは、コンポーネント&エルゴノミクス(半製品-キャビネット、キッチン、オフィス、組み立て家具用半製品)のホール 5.2、ファンクション&パーツのホール 7 とホール 8(フィッティング、ロック、ビルトインパーツ)並びにマシナリー&テクノロジーのホール 9(クッション・マットレス加工機械)です。

ホール 10.1 と 10.2 ではコンフォート&ベッディング(クッション用資材、アクセサリ、クッション家具用生地、レザー)の展示が行われ、インターツムが再びベッディングとクッション家具の世界最大のイベントとなります。ネイチャー&インテリアのホール 5.1(自然素材-木材、ベニヤ、フローリング、インテリア)では、インターツムが内装分野で如何に優れた能力を持っているかが証明されます。

見本市全般、特に地方のメッセなどでは展示スペースの縮小傾向が認められますが、2011 年インターツムは逆に展示スペースが拡大される予定です。この見本市の意義が高まっていることが 2011 年にもはっきりと示されるでしょう。

インターツムでは家具製造と内装に関する全ての製品を見いだすことができます。全てが一つの

会場に集められ、各製品を重点的に提示することでビジターには密度の濃い展示になっています。そして開催時期も適切なタイミングで計画されています。この魅力的な見本市では、世界 130 カ国から集まる非常に専門性の高いビジターに、世界中の新商品が紹介されるでしょう。一言で表せば、2011 年インターツム - 未来はここから始まるのです。

世界のトップ見本市インターツムについて、詳細は www.interzum.de をご参照下さい。

【お問合せ先】

ケルンメッセ株式会社

〒106-0045 東京都港区麻布十番 2-20-6 ジャノメ麻布十番ビル7階

TEL: 03-5418-6245 FAX: 03-5418-6246

e-mail: kmjpn@koelnmesse.jp

URL: www.koelnmesse.jp